

令和6年度 第1回学校運営協議会議事録

さいたま市立仲本小学校

1 日時・場所 [日時] 令和6年5月20日(月) 10:00～11:30
[場所] 会議室

2 出席委員 (青少年育成仲本地区会会長)
(仲本小PTA会長)
(前地自治会長)
(仲本小学校同窓会会長)
(本太2丁目自治会長)
(仲本小学校PTA副会長)
(主任児童委員・元PTA会長)
(仲本小学校校長)
(仲本小学校教頭)
(仲本小学校主幹教諭)
(学校地域連携コーディネーター)
(仲本小学校事務主幹)
欠席委員 (東仲町自治会長)
(原山中学校PTA副会長)

3 次第

- (1) 挨拶(校長)
- (2) 委嘱状(任命状)の交付
- (3) 学校運営協議会委員 自己紹介
- (4) 委員長・副委員長選出
- (5) 開会宣言(委員長)
- (6) 学校運営に関する基本的な方針等の説明と承認(校長)
休憩・会場準備後
- (7) 熟議
- (8) 事務連絡(教頭)(学校地域連携コーディネーター)
- (9) 閉会宣言(委員長)

4 議事概要

- (1) 委員長・副委員長選出について
・委員長を青少年育成仲本地区会会長、副委員長を仲本小PTA会長として

全員一致で選出

(2) 学校運営に関する基本的な方針等の説明と承認（校長）

- ・令和6年度さいたま市立仲本小学校グランドデザイン、令和6年度学校自己評価システムシートをもとに説明
- ・教頭 本年度のトイレ改修及び校地東側コンクリート壁改修について
- ・主幹教諭 本年度の行事予定について
- ・質疑応答
安心メールから、学校は毎日対応が多く大変ご苦労がある。対応はどのように行っているか質問、事例を挙げ臨機応変に対応していることを教頭が回答
あいさつについて、子どもへの呼びかけだけでなく、親の世代から呼びかけていく必要があるのではとの意見
- ・学校運営に関する基本的な方針等を全委員が承認

(3) 熟議について

「さまざまなふれあい活動の一層の充実をはかるための学校・家庭・地域の役割」というテーマで4グループに分かれ熟議（10：50～11：10）その後各グループから発表

グループ1

<主な意見>

- ・子どもたちに体験をさせる活動として
もちつき大会、おまつり、クリスマス会、地域交流会、防災訓練、ごみ0運動等が計画されているが、ふれあいをその中で深めるよう努力する。
- ・仲本公民館、児童センターとの連携も必要である。

グループ2

<主な意見>

- ・情報発信について、ホームページで取り組む以外に、災害時・緊急時にタイムラグがないように子供会との連携等も図り、様々な方法で取り組む必要があると考える。
- ・地域の行事にできる限り多くの子どもが参加してもらうための広報活動も重要である。
- ・本年度の地域での活動を具体的に子どもたちへ伝える工夫があるといい。
- ・小・中学校のつながりを大切にし、中学生ボランティアの活用等も考えていきたい。

グループ 3

<主な意見>

- ・現在行っている地域の行事の目標に「ふれあい」を加える等工夫することでふれあいを深めていくことができる。
- ・大規模災害等において地域で助け合う場合に、いかに顔見知りになっているかが重要となる。地域で集まる行事や作業等でできる限り様々な年代の人がふれあうことはとても重要である。
- ・防災訓練や清掃活動等従来子どもたちがあまり参加していない行事も参加できるよう工夫し、保護者ともども参加してもらい、ふれあいを深めていきたい。

グループ 4

<主な意見>

- ・ごみゼロ運動や地域資源回数の時により地域のみなさんとふれあいを深めていきたい。
- ・「ふれあい」を各行事の名称に付け、より「ふれあい」を意識してもらおう一助にする。
- ・仲本祭に卒業生をボランティアとして働いてもらい、在校生・卒業生・保護者・職員との触れ合ういい機会にする。
- ・SDGsについて、子どもたちが「住み続けられる町」→町のお祭りの紹介を行うことを通し、地域のお祭りへの参加を図っていく。

上記意見を受け、それぞれの立場でふれあいを深める活動を工夫して実施し、第二回の学校運営協議会で報告してもらうこととする。

(4) 事務連絡

- ・教頭 第二回、第三回学校運営協議会での児童との交歓給食について
次回開催予定 令和6年11月18日(月)
- ・学校地域連携コーディネーター 議事録点検について